



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 175019

エポティ

1. 塗料名 亜鉛めっき面用エポキシ樹脂塗料下塗
2. 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
3. 特徴
 - 1) 溶融亜鉛めっき面に対してすぐれた付着力を有する。
 - 2) 弱溶剤形塗料でありながら、速乾性にすぐれ施工効率の向上に寄与する。
 - 3) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。

4. 塗料性状

4. 資料仕様

項 目		内 容					
容姿		2 液性					
荷姿		15kg セット(主剤 13.5kg、硬化剤 1.5kg) 4kg セット(主剤 3.6kg、硬化剤 0.4kg)					
色相		グレー、ライトグレー、Dホワイト					
密度 (23℃)	塗料	1.45 (グレー)					
	揮発分	0.82					
加熱残分		75% (グレー)					
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
	指触	3 時間	2 時間	1 時間	40 分	20 分	
	半硬化	6 時間	5 時間	3 時間	2 時間	1 時間	
標準膜厚		40 μ m					
引火点		S D S 参照					
発火点		S D S 参照					
爆発限界(下限~上限)		S D S 参照					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項 目		内 容		
素地調整*		スリープブラスト処理 ISO Sa1		
調合法		主剤 90 部、硬化剤 10 部（重量比）		
可使時間*		10℃	20℃	30℃
		8 時間以内	5 時間以内	3 時間以内
温度・湿度制限*		温度：5℃以下、湿度：85RH%以上		
使用シンナー		塗料用シンナー又は塗料用シンナーA		
塗 装 法	塗装方法*	刷毛、ローラー塗装		エアレス塗装
	希釈率*	10%以下		20%以下
	標準使用量*	160g/m ²		200g/m ²
	目標膜厚*	40 μ m		40 μ m
	ウェット管理膜厚	75 μ m		75 μ m
エアレス塗装条件		1 次圧 0.4MPa (4kg/cm ²) 以上		
		2 次圧 12MPa (120kg/cm ²) 以上		
		チップNo.163-417～619(ケラコ)又は相当品		
塗装間隔* (20℃)	最小	1 日		
	最大	10 日		

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・金属酸化物、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- (2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使いきること。
- (4) 主剤粘度は特に低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで塗料が流動し、取り扱いし易くなる。
- (5) 規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェスにて拭いて清浄してから塗装すること。
- (6) 塗り重ねる塗料は弱溶剤形塗料とする。
- (7) 希釈には塗料用シンナー又は塗料用シンナーAを使用すること。
- (8) 塗装終了後の使用機器は直ちに塗料用シンナー又はラッカーシンナー等で十分に洗浄する。硬化反応が進行した塗料は塗料用シンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合は、ラッカーシンナー等を洗浄に使用すること。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	S D S 参照	S D S 参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、S D Sをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。